

取扱説明書 施工要領書

ソフトアクアレールプラス ハンドシリーズ

- この度は「ソフトアクアレールプラス」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
ご使用前にはこの取扱説明書・施工要領書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

納入業者様へ

施工は納入業者様が行ってください。
P.8『保証規定』に納入業者様名、ご購入日を記入する箇所がありますので、必ずご記入ください。
施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

お客様へ

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

もくじ

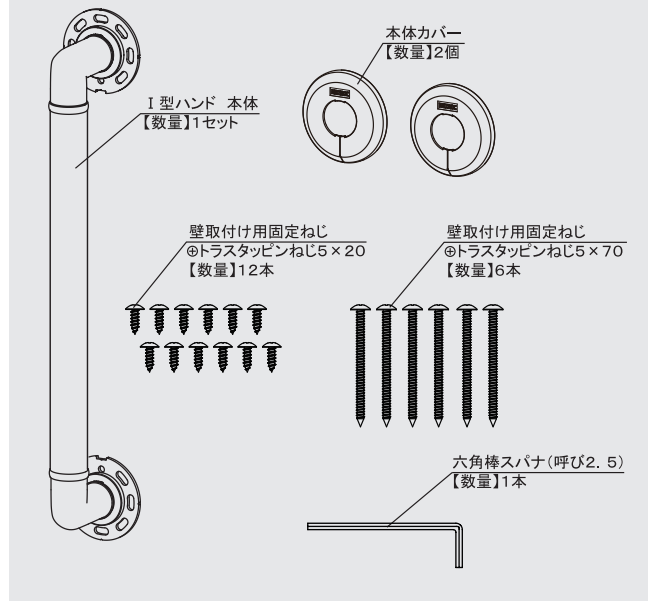
各部の名称	2
安全上のご注意	2
施工方法	
▪ 施工前の準備・確認事項	3
▪ 手すり棒のカット方法	3
▪ 手すり棒の取りはずし方法	4
▪ 手すり棒の取付方法	4
▪ 本体カバーの取りはずし方法	4
▪ ユニットバス	
化粧鋼板での施工方法	4-5
フレキシブル板+発泡ポリスチレンでの施工方法	5-6
▪ 在来工法	
コンクリート下地での施工方法	6-7
木下地での施工方法	7
基本仕様	8
お手入れ方法	8
保証規定(保証書)	8

各部の名称

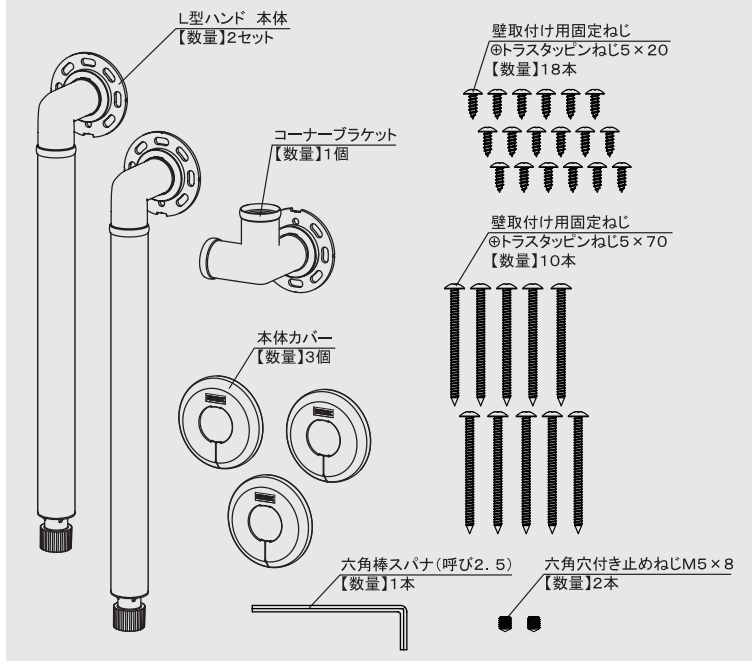
●施工前に部品の不足がないかを確認する。

I型ハンド SAP-I-400W/500W/600W/800W/1200W

※SAP-I-1200Wのみ補強手すり棒が手すり棒内部にセットされています。



L型ハンド SAP-K-6040W/6060W/6080W



安全上のご注意

●施工前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。



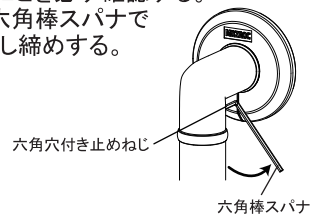
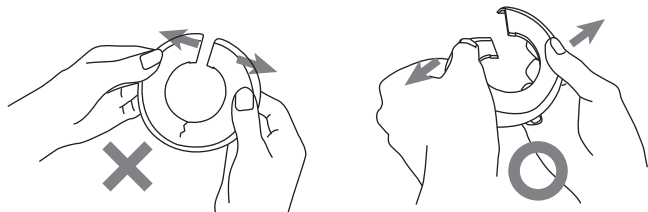
警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容

- ⊘ 他シリーズ(ソフトアクアレル、ステンアクアレルを含む)、他社製品との併用は絶対にしない。
- ⊘ 施工可能な壁以外には絶対に取付けない。(P. 3 施工前の準備・確認事項参照)
- ⓘ 壁の種類に応じて指定の固定ねじで指定のねじ止め位置に必要な本数を必ず取付ける。(P. 4~7 参照)
- ⓘ 指定の下穴径を必ず守る。
- ⓘ 指定のブラケットピッチ(800mm以内)を必ず守る。(補強手すり棒併用の場合は1200mm以内。)
- ⓘ 過去に生産された一部のユニットバスにおいて、壁の下地材や壁の基材に石綿(アスベスト)を含有したものを使用している場合がある為、施工前には必ずユニットバスメーカーへ確認する。



注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容

- ⊘ 屋外で使用しない。
- ⊘ 強い衝撃を与えない。
- ⊘ 火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前で使用しない。変形・変色・やけどの原因となる。
- ⊘ 必要な部品を省かない。
- ⊘ 製品に乗ったり、ぶらさがったりしない。
- ⊘ 無理な力を加えない。
- ⊘ 破損があるものは使用しない。
- ⊘ 改造は絶対にしない。
- ⊘ 海外で使用しない。※本製品は日本国内専用
- ⊘ 本体カバーは横方向に開かない。本体カバーが割れてけがの原因となる。取付けの際はひねって取付ける。
- ⓘ 浴室で使用する場合は必ずシーリングを行う。
- ⓘ ユニットバスに取付ける場合は、パネルとパネルのジョイント部からブラケット中心まで100mm以上離す。パネル裏のジョイント部材にねじが干渉する恐れがある。
- ⓘ 壁の材質がわからない場合は各ユニットバスメーカーへ確認をする。
- ⓘ 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。ガタツキがある場合は、六角棒スパナで六角穴付き止めねじを増し締めする。
- ⓘ 異常があった際は使用を中止して納入業者様、またはマツ六まで相談する。

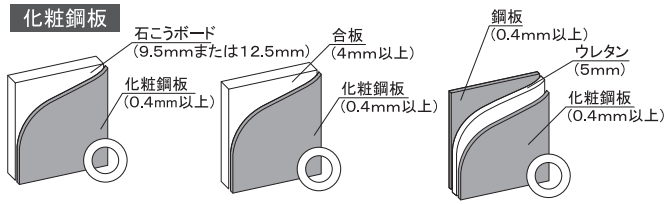


施工方法

施工前の準備・確認事項

● 施工可能な壁と使用する壁取付け用固定ねじを確認する。

ユニットバス



化粧鋼板 (0.4mm以上)

石こうボード (9.5mmまたは12.5mm)

合板 (4mm以上)

鋼板 (0.4mm以上)

ウレタン (5mm)

化粧鋼板 (0.4mm以上)

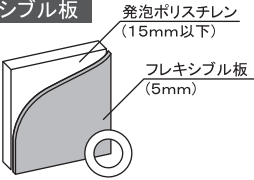
化粧鋼板 (0.4mm以上)

壁取付け用固定ねじ (同梱品)

トラスタッピンねじ5×20

施工方法はP. 4へ

フレキシブル板



発泡ポリスチレン (15mm以下)

フレキシブル板 (5mm)


壁取付け用固定ねじ SAP-OP1 (別売)

トラスタッピンねじ5×40

中空壁用アンカー

施工方法はP. 5へ

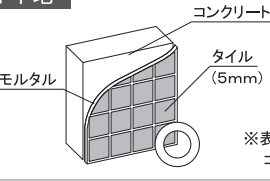
施工不可能な壁



- FRP
- ホーロー
- けい酸カルシウム板+石こうボード
- けい酸カルシウム板+タイル
- 天然大理石
- その他強度不足の壁

在来工法

コンクリート下地



コンクリート

モルタル

タイル (5mm)

※表面仕上がタイル以外がタイル以外のコンクリート下地も含む。

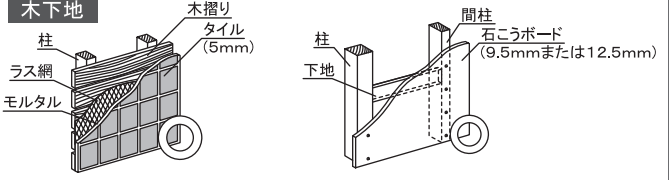
壁取付け用固定ねじ (同梱品)+オールプラグ (別売)

トラスタッピンねじ5×70

オールプラグ

施工方法はP. 6へ

木下地



柱

ラス網

モルタル

木下地

木摺り

タイル (5mm)

間柱

石こうボード (9.5mmまたは12.5mm)

※ねじは柱または下地に打つ。

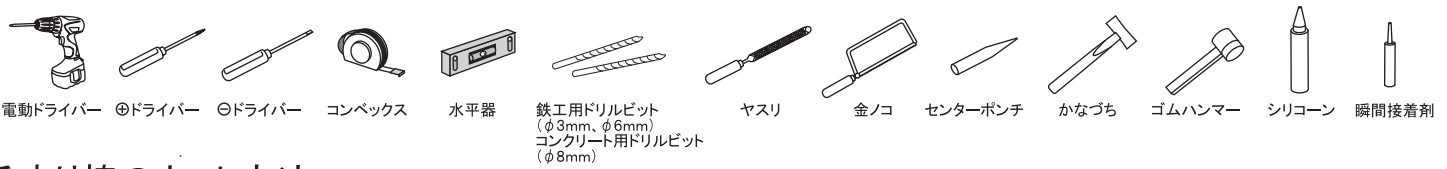
壁取付け用固定ねじ (同梱品)

トラスタッピンねじ5×70

施工方法はP. 7へ

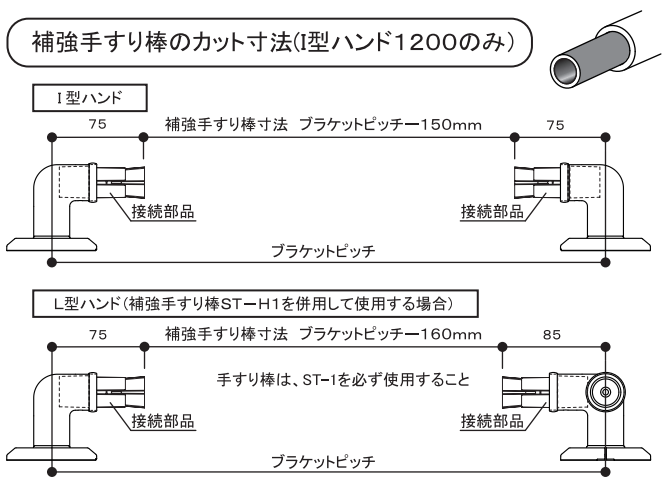
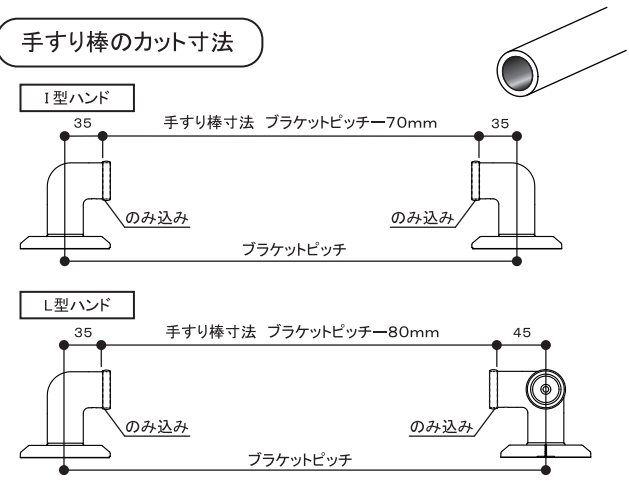
- ⊘ 施工可能な壁以外には絶対に取付けない。
- ❗ 壁の種類に応じて指定の固定ねじで必ず取付ける。

● 施工に必要な工具類



手すり棒のカット方法

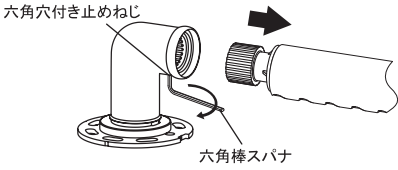
■ 任意のブラケットピッチで設置する場合は、以下の寸法で手すり棒をカットする。



- ⊘ 補強手すり棒は必要寸法より短くカットしない。ねじ固定しない為、短くカットするとガタつく恐れがある。
- ❗ カット時にバリが発生した場合はヤスリでバリを必ず落とす。
- ❗ L型ハンドをブラケットピッチ1200mm以内で設置する場合、手すり棒はST-1を必ず使用する。

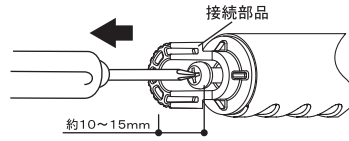
手すり棒の取りはずし方法

1. 六角穴付き止めねじを六角棒スパナ(呼び2.5)で緩め、ブラケットから手すり棒を取りはずす。



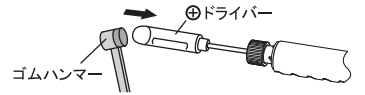
2. プラスドライバーで接続部品のねじをゆるめる。

目安として、接続部品の先端からねじ頭までの距離が約10~15mmのところまで、ねじを緩める。



3. 接続部品を取りはずす。

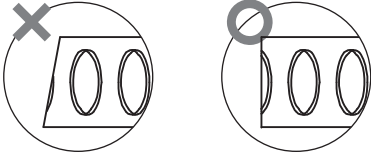
⊕ドライバーを接続部品のねじに合わせた状態で、⊕ドライバーの柄をゴムハンマー等で叩く。強く叩くと、接続部品の破損の恐れがある。



⚠ 接続部品を取りはずす際は、必ず片側のみとすること。

手すり棒の取付方法

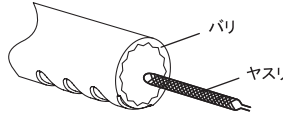
1. 小口が水平になるように手すり棒をカットする。



⊘ 小口が斜めになると、のみ込みが不十分となり、強度が保てない。

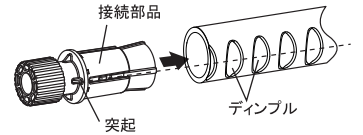
2. 小口に発生したバリを処理する。

金属ヤスリ等でバリを落とす。処理をせずに、接続部品を挿入するとしっかりと固定できない。



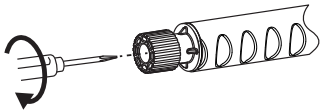
3. 手すり棒に接続部品を挿入する。

手すり棒のディンプルの向きと接続部品の突起の向きを合わせる。



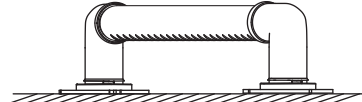
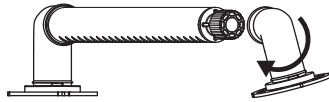
4. 接続部品を仮固定する。

ねじは必ず手回しで取付ける。



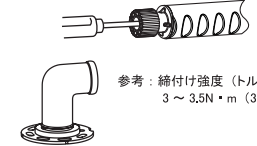
5. 接続部品を仮固定した手すり棒に、ブラケットを取付ける。

仮固定した接続部品の向きを調整し、平らな面に置いてブラケット同士を水平にする。



6. 接続部品を本締めする。

一度、ブラケットを取りはずし、仮固定している接続部品を手回しで本締めする。



参考：締め付け強度(トルク)は、
3 ~ 3.5N・m (30 ~ 35kgf・cm)

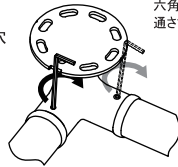
7. ブラケットを取付ける。

六角穴付き止めねじ固定用の穴から通した六角棒スパナ(呼び2.5)で六角穴付き止めねじを締める。

参考：六角穴付き止めねじが接続部品に接触してから、六角棒スパナで1回転~1回転半程度締め込む。



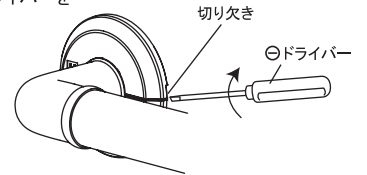
※コーナーブラケットの場合は、六角穴付き止めねじ固定用の穴に六角棒スパナを通さずに六角穴付き止めねじを締められる。



⊘ 六角穴付き止めねじは接続部品に接触してから2回転半以上締め付けないこと。ねじ穴がつぶれて締め付けられなくなる。

本体カバーの取りはずし方法

カバーの切り欠きに⊕ドライバーを差し込み、ひねる。



⚠ 本体カバーは、一度取付けるとはずれにくい為、施工完了時に取付けること。

ユニットバス 化粧鋼板での施工方法

⚠ 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

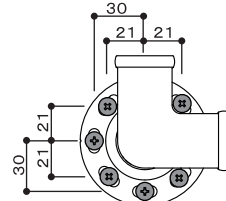
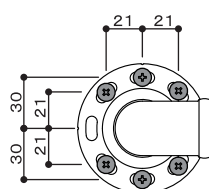
1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

壁取付け用固定ねじ(同梱品)

トラスタッピンねじ5×20

エンドブラケット 6本

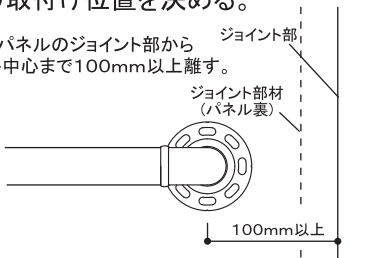
コーナーブラケット 6本



(単位:mm)

2. 手すり取付け位置を決める。

パネルとパネルのジョイント部からブラケット中心まで100mm以上離す。



3. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ3mm)をあける。

センターポンチを使用して下穴の中心を出すと施工しやすい。鉄工用ドリルビットを使用する。



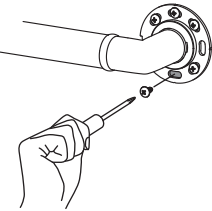
4. 下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。

下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



5. ブラケットを取付ける。

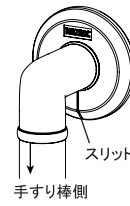
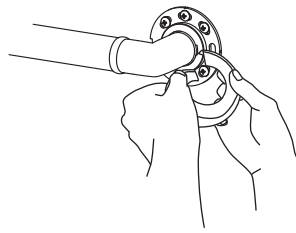
ねじは必ず手回しで取付ける。強く締めすぎるとねじが空回りし、ガタツキや脱落の原因となる。



- ⊘ ねじがブラケット座に接してから半回転以上締め付けない。また、電動ドライバーでねじを取付けない。強く締めすぎるとねじが空回りし、ガタツキや脱落の原因となる。

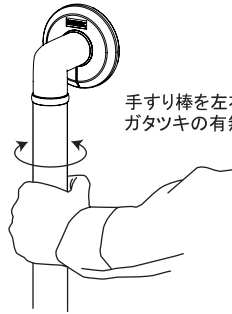
6. 本体カバーを取付ける。

本体カバーをひねってブラケットに通して取付ける。

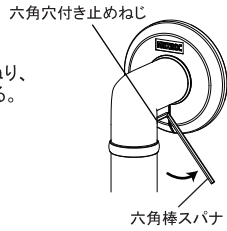


- ⚠ 本体カバーのスリットは手すり棒側にくるように上図の向きで取付ける。

7. ガタツキがないことを確認する。



手すり棒を左右に軽くひねり、ガタツキの有無を確認する。



六角穴付き止めねじ

六角棒スパナ

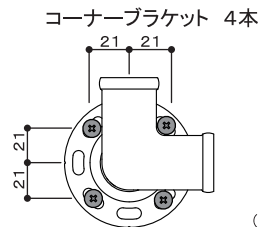
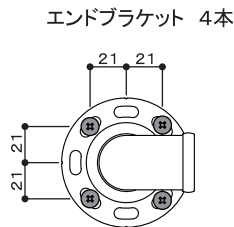
- ⚠ ガタツキがある場合は、六角棒スパナで六角穴付き止めねじを半回転～1回転程度増し締めする。ガタツキの具合を都度チェックし、締めすぎないこと。

ユニットバス フレキシブル板＋発泡ポリスチレンでの施工方法

- ⚠ 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

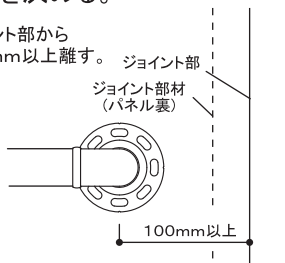
壁取付け用固定ねじ
SAP-OP1(別売)
トラスタッピンねじ5×40
中空壁用アンカー



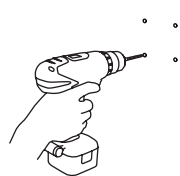
(単位:mm)

2. 手すり取付け位置を決める。

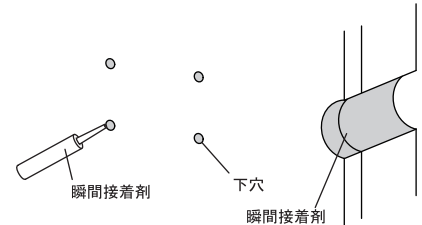
パネルとパネルのジョイント部からブラケット中心まで100mm以上離す。



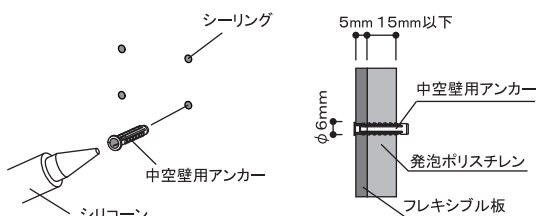
3. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ6mm)をあける。



4. 下穴の内部に瞬間接着剤を塗布して下穴を補強する。

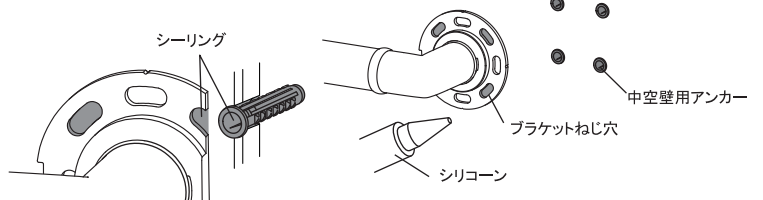


5. 下穴にシーリングを行い、中空壁用アンカーを挿入する。



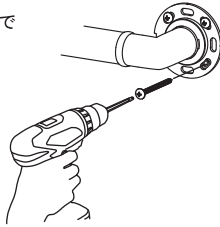
6. ブラケットねじ穴と中空壁用アンカーにシーリングを行う。

中空壁用アンカーと使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



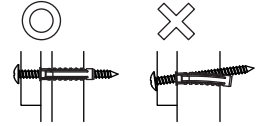
7. ブラケットを取付ける。

ブラケットねじ穴をアンカーの位置に合わせ、
ブラケットを壁にしっかりと
密着させて電動ドライバーで
ねじを締める。



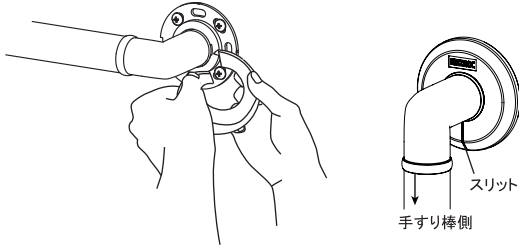
⊘ 手回しでねじを取付けない。ガタツキや脱落の原因となる。

⚠ アンカーからねじがずれないように、
ねじはまっすぐ打つ。斜めにねじを
打つとアンカーが壁内部で正常に
変形せず、ガタツキや脱落の原因となる。



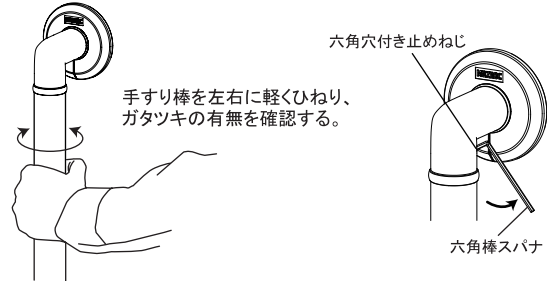
8. 本体カバーを取付ける。

本体カバーをひねって
ブラケットに通して取付ける。



⚠ 本体カバーのスリットは手すり棒側
にるように上図の向きで取付ける。

9. ガタツキがないことを確認する。



⚠ ガタツキがある場合は、六角棒スパナで
六角穴付き止めねじを半回転~1回転程度増し締めする。
ガタツキの具合を都度チェックし、締めすぎないこと。

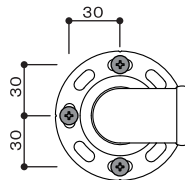
在来工法 コンクリート下地での施工方法

⚠ 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

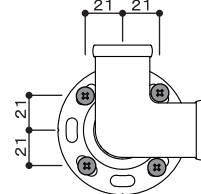
1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

壁取付け用固定ねじ (同梱品)+オールプラグ (別売)
トラスタッピンねじ5×70
オールプラグ

エンドブラケット 3本



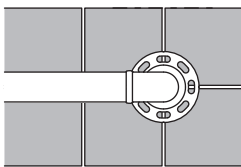
コーナーブラケット 4本



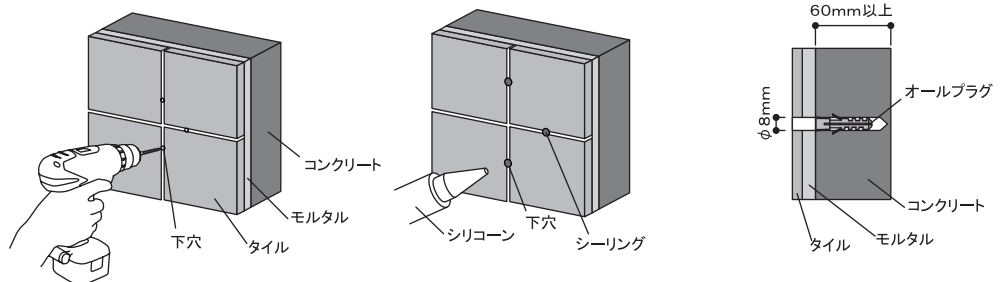
(単位:mm)

2. 手すりの取付位置を決める。

タイルに取付ける場合はタイルの目地位置に
ねじ止めをすと施工しやすい。

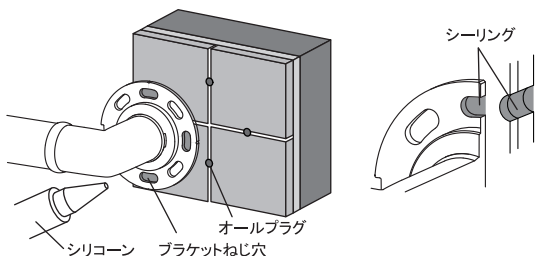


3. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ8mm)をあけ、シーリングを行い、 オールプラグを挿入する。



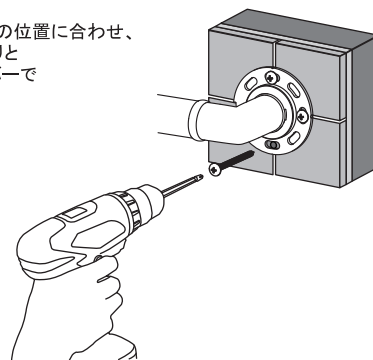
4. ブラケットねじ穴とオールプラグに シーリングを行う。

オールプラグと使用するブラケットねじ穴が
シリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



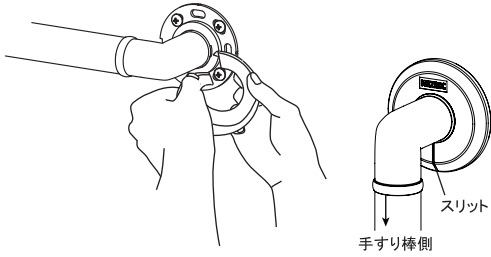
5. ブラケットを取付ける。

ブラケットねじ穴を下穴の位置に合わせ、
ブラケットを壁にしっかりと
密着させて電動ドライバーで
ねじを締める。



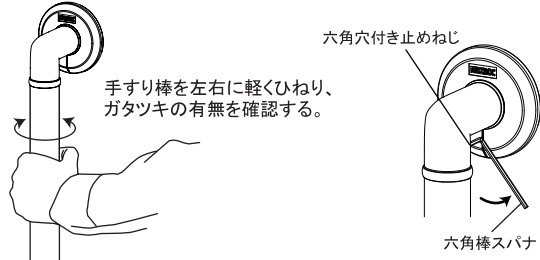
6. 本体カバーを取付ける。

本体カバーをひねって
ブラケットに通して取付ける。



❗ 本体カバーのスリットは手すり棒側にくるように上図の向きで取付ける。

7. ガタツキがないことを確認する。



❗ ・ガタツキがある場合は、六角棒スパナで六角穴付き止めねじを半回転～1回転程度増し締めする。ガタツキの具合を都度チェックし、締めすぎないこと。

在来工法 木下地での施工方法

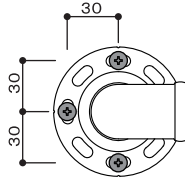
❗ ・施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

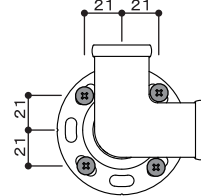
壁取付け用固定ねじ (同梱品)

トラスタッピンねじ5×70

エンドブラケット 3本



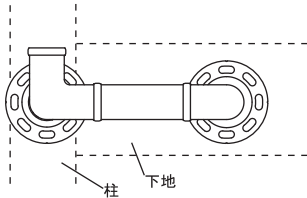
コーナーブラケット 4本



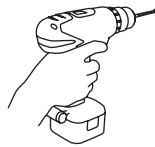
(単位:mm)

2. 手すりの取付位置を決める。

ブラケットは必ず柱または下地に取付ける。

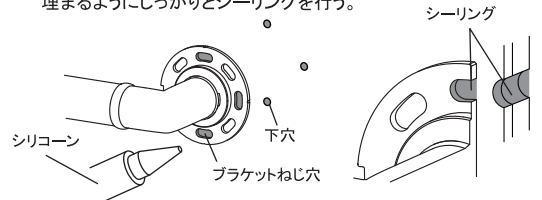


3. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ3mm)をあける。



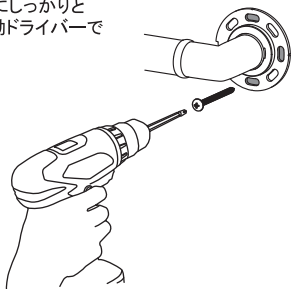
4. 浴室内で使用する場合は下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。

下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



5. ブラケットを取付ける。

ブラケットねじ穴を下穴の位置に合わせ、
ブラケットを壁にしっかりと
密着させて電動ドライバーで
ねじを締める。



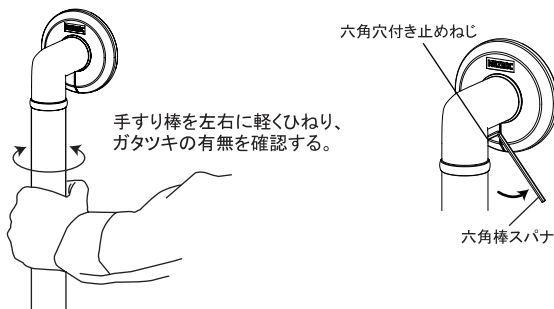
6. 本体カバーを取付ける。

本体カバーをひねって
ブラケットに通して取付ける。



❗ ・本体カバーのスリットは手すり棒側にくるように上図の向きで取付ける。

7. ガタツキがないことを確認する。



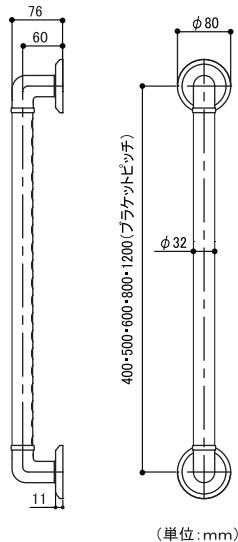
❗ ・ガタツキがある場合は、六角棒スパナで六角穴付き止めねじを半回転～1回転程度増し締めする。ガタツキの具合を都度チェックし、締めすぎないこと。

基本仕様

I型ハンド

SAP-I-400W/500W/600W/800W/1200W

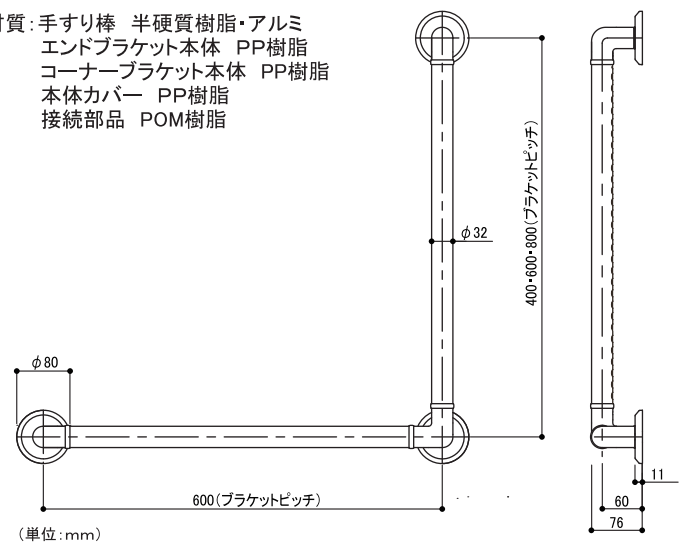
材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ
 エンドブラケット本体 PP樹脂
 本体カバー PP樹脂
 接続部品 POM樹脂
 補強手すり棒(SAP-I-1200Wのみ) アルミ



L型ハンド

SAP-K-6040W/6060W/6080W

材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ
 エンドブラケット本体 PP樹脂
 コーナーブラケット本体 PP樹脂
 本体カバー PP樹脂
 接続部品 POM樹脂



お手入れ方法

から拭きでのお手入れ

1. やわらかい布でから拭きする。

中性洗剤でのお手入れ

1. 中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きとる。
2. 洗剤が残らないように水拭きする。
3. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

塩素系洗剤でのお手入れ

※市販の漂白剤(塩素濃度約5%)の場合

1. 塩素系洗剤を濃度0.02% (500mlのペットボトル1本の水に2ml、ペットボトルのキャップ半杯)以下で希釈する。

注1)厚生労働省「社会福祉施設、介護老人保健施設におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生・まん延防止策の一層の徹底について」における消毒液の基準に準じる

2. 柔らかい布に含ませた後、固く絞り、洗剤が1箇所に溜まらないように注意しながら手早く拭く。
3. 洗剤が残らないように水拭きする。
4. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

- ⊘ 酸性、アルカリ性洗剤やシンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しない。(変形変色の原因となる。)
- ⊘ クレンザー、磨き粉、ナイロンたわし等は使用しない。(傷の原因となる。)
- ⊘ 浸け置き洗いはしない。(変形変色の原因となる。)

保証規定(保証書)

●保証期間:お買い上げ日より1年

この保証規定は、故障や欠陥が発生した場合に、お買い上げ後1年以内であれば、無償修理または交換をお約束するものです。

ただし下記の場合は、保証期間内においても有償修理となります。

- (1)本書記載以外の使用や禁止行為などに起因するもの。
- (2)火災、地震、水害などの天災地変ならびに事故等外部要因に起因するもの。
- (3)お買い上げ後の落下、輸送による損傷。
- (4)使用による外観や本体外部の消耗および傷。
- (5)リサイクル業者や使用者などによる再販など、当社の責任範囲を超える場合など。
- (6)日本国外での使用。
- (7)当社もしくは当社の指定した修理事業者など以外による修理など。
- (8)本書の提示のない場合。
- (9)施工不備による損傷および不具合。
- (10)納入業者名、ご購入日を明記されていない場合。

納入業者名: _____

ご購入日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

マツ六株式会社
 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
 TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>